

テレビ朝日の新アジア戦略！！

タイ・インドでのメディア大手企業と提携

バンコクにビジネスビューロー開設

テレビ朝日は、アジア戦略強化の一環として、タイのメディア複合企業「Kantana Group Company Limited（以下、カンタナ）」、並びにインドのテレビ放送事業会社「ZEE Entertainment Enterprises Limited（以下、ZEEL）」とそれぞれビジネス協力に関する協定を締結いたしました。

1. 目的

近年、アジア地域でのテレビ朝日の番組販売実績は右肩上がりとなっており、当社の番組はアジアではこれまでに18の国と地域で放送されています。また、政府の“クールジャパン”戦略などの後押しもあり、日本のコンテンツの需要は引き続き拡大すると予想されます。この状況を踏まえ東南アジア地域、及びインドを含む南アジア地域まで広くカバーしたアジア全域へのビジネス展開の足掛かりとすべく両社と提携することになりました。

2. 今後の展開

「カンタナ」とはこれまでも番組の共同制作などで協力関係を築いており、今後はお互いを最優先のビジネスパートナーと位置付け、イベント開催やインターネット関連ビジネスなど、新しい分野での協力を進めてまいります。具体的には、4月30日から5月3日まで開催される「カンタナ」主催イベント『タイランド・コミコン2015』でのアイドルグループや出演者の調整・ブッキング、「クレヨンしんちゃん」関連の展示、「新日本プロレスワールド」宣伝ブースの出展などが予定されています。

「ZEEL」とは日本及びインドとその周辺地域でのコンテンツ展開やコンテンツ関連事業について相互に協力することとし、幅広いコンテンツの市場開拓を進めます。

3. バンコクにビジネスビューローを開設

2社との提携関係をより確実なものとし、アジア全域でのビジネス強化を目指すため、バンコクにビジネスビューローを設置いたします。

4. 両社の概要

「カンタナ」(タイ)

- 会長兼 CEO：ジャレク・カルジャレク (Jareuk Kaljareuk) 氏
- タイ及び東南アジア地域に展開するメディアコングロマリット
- タイ国内でのテレビ、映画（制作及びポストプロダクション）、教育の3部門の関連会社は20社を数え、7つの衛星チャンネルの運営にも参画
- ベトナム、ミャンマーで放送局を運営し、インドネシア・カンボジア・ラオスなど、東南アジア全域に広範な影響力を持つ
- 映画、流通、IT、小売、ゲーム制作、VODプラットフォーム、イベント運営など多くの企業を傘下に持ち、これら企業と様々な新規ビジネスを展開

「ZEEL」(インド)

- 会長：サブハッシュ・チャンドラ (Dr. Subhash Chandra) 氏
- ムンバイに本社を持つインド最大のメディアコングロマリットの一つ、「ESSEL」グループの中核を担うテレビ放送事業会社。「エッサール」グループでは新聞社、有線放送、衛星通信、アミューズメントパーク、映画配給、教育関連事業等、幅広い事業を行っている
- 「ZEEL」は従業員約2200人。世界169か国で68チャンネルを展開し、全世界で約9億6000万人以上に視聴されている
- インドの主要8言語中、7言語で放送。エンターテインメント、ニュース、映画、スポーツ、音楽、宗教、キッズなど多くの専門チャンネルを運営